

豪州における「スノーリゾート東北」プロモーション事業

業務仕様書（案）

（一社）東北観光推進機構

仕様書

1. 業務名

豪州における「スノーリゾート東北」プロモーション事業

2. 目的

豪州市場に対して東北のスノーリゾートに関する情報のほか、快適なスキー環境はもとより、アフタースキーや交通アクセスなどの付加価値の高い情報発信をスキー愛好者に向けて行うことで、東北六県・新潟県の認知度向上及び誘客促進を図ることを目的とする。

本事業では、豪州旅行博出展、現地商談会参加、インフルエンサー招請及び旅行会社招請を実施し、季節と体験・文化・食を組み合わせたプロモーションで冬をフックにグリーンも含めた両シーズンでの東北六県・新潟県及び仙台市への認知度向上及び誘客促進につなげる。

3. 事業上限金額

金 17,000,000円（消費税及び地方消費税を含む）

記載の金額はあくまで現時点での事業上限金額であり、今後の予算確保の状況により変更となる場合がある。なお、事業実施にあたっては、上記金額内の東北観光推進機構が指定する額で、本事業において連携する自治体（以下、「連携自治体」という。）のうち指定の自治体及び東北観光推進機構とそれぞれ契約の締結に係る手続きを行うこと。

4. 契約期間

契約日から2027年3月19日（金）まで

5. 業務内容

（1）旅行博出展

①出展する旅行博

オーストラリア旅行博覧会（Snow Travel Expo 2026 Sydney）へのブース出展。

開催時期：2026年5月24日（日） 開催場所：シドニー

②PRの基本方針

a ウィンタースポーツ愛好者、訪日リピーター層を主なターゲットとする。

b 東京から東北へ容易にアクセスできること（新幹線や羽田ー各地方空港間を結ぶ航空路線の活用）及びウィンタースポーツ愛好者に人気の高い北海道ともアクセスが容易であること（北海道新幹線の活用）を併せて紹介することで、東京や北海道等と組み合わせた広域の視点も踏まえつつ、主に連携自治体（岩手県、宮城県、秋田県）を中心に東北への旅の魅力をアピールする。

c JR East Pass や Tohoku Highway Bus Ticket 等、各種パスを活用することにより、コストを抑えつつ公共交通機関で気軽に東北への旅を楽しむことができることをアピールする。

③業務の概要

a ブース出展・装飾

(a) ブース出展について

- I 出展数は2ブース分を計上すること。(3m×3m ブース、出展料は主催者に照会のこと)
- II 申し込みについては、当機構から出展者に連絡済み。
- III 出展効果を高めるため、同時に出展される東北関係の団体等と可能な限り連携を図ること。
- IV ブース名は「TOHOKU JAPAN」とすること。
- V 出展案内に関しては主催者のホームページを確認すること。

(b) ブース装飾について

- I 他地域と差別化した東北ならではの冬の観光資源等を、インパクトあるビジュアルで発信する。
- II 訪日リピーター層・ウインタースポーツ愛好者に訴求する装飾を企画提案すること。
- III アフタースキー情報(温泉や食、伝統・文化体験、ナイトライフ等)の充実を図り、東北の冬の多様な魅力をPRすること。
- IV ブース壁面は直接施工ができないことを踏まえ、主催者から提示される情報を踏まえて装飾の提案をすること。
- V 「Treasureland Tohoku Japan」のロゴを使用し、東北の統一感をもった装飾とすること。
- VI その他、装飾に必要なものを準備すること。
- VII パンフレット入り段ボールや貴重品等を収納し、施錠可能な棚又はスペースを確保すること。
- VIII 東北六県・新潟県及び仙台市の観光動画または現地とのオンライン中継をブースで放映できるよう、必要な機材等を設置すること。
- IX ブース来場者の質問等に対応するため、通信環境を整えWEB検索が可能な機材等を設置すること。
- X ブースにおいて、東北観光推進機構CRMシステム(Tohoku Fan Club)の会員獲得、増加に資する取り組みを行うこと。
- XI Tohoku Fan Club登録に係るギブアウェイは委託者より提供するので、輸送すること。

b ブースの運営

- (a) ブース係員として、英語及び日本語での会話ができ、アンケート調査及び東北の観光説明を行う能力がある者を2名配置して、東北の観光の魅力を説明しながら、東北六県・新潟県及び仙台市のパンフレット等を来場者に配布すること。ブース係員2名は過去に東北ブースの通訳業務経験がある者から選定することが望ましい。
- (b) 来場者とのコミュニケーションを通じて東北への関心と理解を深めてもらうとともに、豪州人の旅行嗜好や東北の現在の知名度等を調査するため、アンケート調査を実施し、集計及び分析の上報告すること。
- (c) アンケートは一般消費者を対象として計200名に実施すること。また、アンケートは東北観光推進機構指示のもと、東北観光推進機構CRMシステム(Tohoku Fan Club)を活用して実施すること。
- (d) アンケートのノベルティについては、受託者が調達し、岩手県・宮城県・秋田県及びJR東日本のものを中心に選定し輸送すること。

c ブースステージの活用

- (a) Snow Travel Expo が設置すると想定されるブースステージにおいて、岩手県、宮城県、秋田県

を中心に冬の東北のPRを行うこと。

(b) ステージPRに必要なスライドやPC等の機材を手配すること。なお、モニター、イーゼル、音響はSnow Travel Expoから貸与されるものと仮定する。

(c) スライド・PRの内容については、最終的に事業主体の合意を得ること。

(d) ステージPRのため、英語でプレゼンできるスタッフを配置すること。

d 現地への荷物輸送

観光PRに使用するパンフレット等の物品を日本から豪州に輸送すること。なお必要数を算出し事業費に計上すること。(航空便想定)

e 主催者等との連絡調整等

主催者等とブース出展料の支払いその他出展に係る連絡調整及び手続等を行うこと。

④ 現地旅行会社等への訪問実施

豪州市場における東北地域への訪日誘客拡大を目的として、現地旅行会社等を訪問し、東北の観光資源に関する最新情報の提供および旅行商品の造成・販売に向けた意見交換を行う。以下内容にて本事業を実施するにあたり必要となる各種調整を実施すること。

a 概要

(a) 日程：2026年5月25日（月）

(b) 訪問先：現地旅行会社、関係機関等 計3～4か所程度

(c) 参加者：委託者及び連携自治体、東北ブース出展関係者を想定（委託者と協議すること）

b 事前手配

(a) 日本側参加者が訪問先の間を移動するために適当な車両を手配すること。なお、当日の集合から解散まで全て同じ車両を用いることとする。

(b) 訪問を行うにあたっての適切なガイドを手配すること。

(c) ガイドとは別に訪問時の通訳（日本語・英語語）を手配し、同行させること。通訳は東北の観光事情を熟知している者を手配すること。

c 行程管理

(a) 委託者が指定する訪問先・訪問時間に時間厳守で到着できるよう行程管理を行うこと。当日、不測の事態等により訪問時間に遅れる場合等には、適宜訪問先へ連絡を取るなどし、スムーズな実施に努めること。

(b) 集合から解散まで各訪問先での点呼等を行うこと。乗車名簿は委託者から提供する。

d 昼食会場の手配

(a) 行程を踏まえ、適切な時間・場所で昼食会場を手配すること。

(b) 事前に日本側参加者の出欠を確認し、当日の会場までのアテンドや集金等を行うこと。なお、費用は参加者の負担とし、当日集金または後日請求書により対応すること。

(2) 現地 BtoB 訪日旅行商談会への参加

① 参加する BtoB 訪日旅行商談会

a Japan Roadshow 2026

(a) 開催日：2026年8月頃 開催予定（変更の可能性あり）

(b)開催場所：シドニー及びメルボルンの2箇所（2025年度参考、変更の可能性あり。）

(c)JNTO が主催する BtoB 訪日旅行商談会への現地参加（2箇所想定）

②PR の基本方針

- a 東京から東北へ容易にアクセスできること（新幹線や羽田ー各地方空港間を結ぶ航空路線の活用）及びウインタースポーツ愛好者に人気が高い北海道ともアクセスが容易であること（北海道新幹線の活用）を併せて紹介することで、東京や北海道等と組み合わせた広域の視点も踏まえつつ、主に連携自治体（岩手県、宮城県）を中心に東北への旅の魅力をアピールする。
- b 岩手県、宮城県を中心に東北の冬の観光資源であるスキーおよびアフタースキーコンテンツをはじめ、日本食、伝統、文化体験等東北の多様な観光素材を活用し、東北観光の魅力を総合的に発信する。あわせて、冬季観光を入口としつつ、グリーンシーズンの観光需要喚起につながる訴求を行う。
- c JR East Pass や Tohoku Highway Bus Ticket 等、各種パスを活用することにより、コストを抑えつつ公共交通機関で気軽に東北への旅を楽しむことができることをアピールする。

③訪日旅行商談会への参加及び参加準備

①で提示した訪日旅行商談会へ参加するための連絡調整及び手続等の必要な作業を行うこと。「必要な作業」とは以下のとおりとする。なお、プレゼン資料は岩手県、宮城県を中心にした資料とし、東北観光推進機構にて準備する。

a 訪日旅行商談会参加に係る申し込み等

訪日旅行商談会参加に係る申し込み等を行うこと（なお、参加にあたっては、JNTO（日本政府観光局）が募集する商談会を基本とし、JNTO からの募集については、東北観光推進機構が申し込みを行う。）

b 参加料の支出

(a) 訪日旅行商談会参加に係る参加料の支払いをすること。

(b) 出展数は1団体とし、計上すること。

(c) 詳細は主催者案内を確認すること。

c 通訳手配

英語及び日本語での会話ができ、東北の観光説明を行う能力がある通訳者を1名手配すること。

(3) インフルエンサー招請

①実施概要

- a 豪州のウインタースポーツ愛好者に影響力のある豪州インフルエンサーを1名以上1回招請すること。
- b 提案するインフルエンサーの選定理由や市場において有する影響力（媒体接触者数、SNSフォロワー数等）を詳細に記載すること。また、発信回数や目標とするリーチ数等についても明記すること。
- c 招請時期は冬季とし、5泊6日程度（機内泊含まず）とする。
※招請時期については、社会情勢を踏まえ柔軟に対応すること。なお、この期間は東北取材にかかる実際の日数とし、移動にかかる前泊・機内泊等は除くものとする。

d 被招請者の選定に当たっては、可能な限り早期の調整を行い、キャンセルが発生する時期を明記するなど、キャンセル料等が発生しないようにすること。なお、キャンセル料が生じた場合、全て受託者が負担することとする。

②業務の内容

a 招請行程の提案

- (a) 青森県・宮城県（仙台市除く）・秋田県・福島県及び仙台市でそれぞれ1泊以上する行程とすること。
- (b) 行程は青森県・宮城県（仙台市除く）・秋田県・福島県及び仙台市の観光スポット等の中から選定することとし、スキー場やアフタースキーコンテンツを中心に豪州のウインタースポーツ愛好者が関心を示す冬の東北の広域観光を紹介する内容で提案すること。また、実際にスキー等が体験できるよう手配すること。
- (c) 東京から東北へのアクセスの容易さおよび東北域内における移動の利便性を体感できる行程とすること。あわせて、行程中に新幹線（グランクラス）を1回以上利用すること。区間は問わない。
- (d) 豪州人に人気の定番スポットのみならず、新たな施設についても可能な限り行程に含めること。
- (e) FIT 層への発信を前提に、公共交通機関の利用によりアクセスが行える場所を中心に選定すること。
- (f) 提案に当たっては被招請者に意見を聴取し、各発信媒体のフォロワー属性や発信内容と合致した取材内容を提案すること。最終的には委託者と調整の上行程を決定すること。
- (g) スキー体験等天候によって実施の可否が決まるものについては、事前に悪天候時の代替案について検討しておくこと。

b 招請に向けた旅行手配等

- (a) 被招請者選定に係る連絡調整及び手続等を行うこと。
- (b) 被招請者の旅行手配について、海外渡航費（被招請者の自宅⇔海外拠点空港までの往復移動含む）
- (c) 日本国内交通費・宿泊費・食事代等を計上すること。
- (d) 招請中、被招請者の中から感染症等の罹患者が出た場合、係る対応費用は全て受託者が負担するものとする。
- (e) 招請中の移動手段として、専用車を手配すること。
- (f) 観光施設等の視察に係る経費を計上するとともに、事前に取材許可及び見学費の減免許可等を得ること。
- (g) 事業目的の達成にふさわしい通訳及びガイドを手配し、当該通訳及びガイドに要する経費（交通費、宿泊費、食事代及び見学費等）を計上すること。（通訳とガイドは兼務でも構わない）
- (h) 行程を計画通り安全かつ円滑に遂行されるよう、通訳とは別に旅程を管理する者（添乗員等）を手配し、当該添乗員等に要する経費（交通費、宿泊費、食事代及び見学費等）を計上すること。
- (i) 宿泊先は、インバウンド受入に積極的であり、かつ原則として客室又は公共スペースでの Wi-Fi が利用可能な宿泊施設とすること。また、原則1人1部屋ずつ手配すること。
- (j) 被招請者に当該事業に係る傷害保険を手配することとし、必要な経費を計上すること。
- (k) 被招請者に対してアンケート調査を実施し、集計及び分析の上報告すること。なお、アンケート

の内容については、事前に委託者と協議することとし、今後の豪州市場からのインバウンド誘客への検討材料となるものにすること。

- (l) 旅の行程についてのコースの地図と各スポットの概要及び交通情報を網羅した「旅のしおり」を作成すること。
- (n) 招請実施後は参加者に適宜必要な情報提供等を行うことにより、情報発信に向けたフォローアップを行うこと。また、実績値については適宜報告するとともに、事業報告書において記載すること。
- (m) 原則として、被招請者には東北観光推進機構 CRM システム (TOHOKU Fan Club) に加入いただくこと。

(4) 旅行会社招請

①実施概要

- a スノー商品に強く家族向け SIT を年間販売できる旅行会社の商品造成担当者 2 社 2 名以上を 1 回豪州現地より招請し、東北 7 県の観光資源を視察してもらうことにより、旅行商品の造成を促すこと。提案にあたっては、選定理由を明記することとし、その中には招請する旅行会社の顧客層や実績を含むこと。
- b 具体的な被招請者は企画提案内容を踏まえ委託者と協議の上、決定すること。
- c 東京への直行便就航都市より被招請者を選定し、東京から東北へのアクセスを含め冬の東北をフックに家族向けのコンテンツをふくめプロモーションすること
- d 被招請者の選定にあたっては、可能な限り早期の調整を行い、キャンセルが発生する時期を明記するなど、キャンセル料等が発生しないようにすること。なお、キャンセル料が生じた場合、全て受託者が負担することとする。

②業務の内容

a 招請行程の提案

- (a) 実施時期は冬季 1 回、4 泊 5 日程度（機内泊含まず）とする。
- (b) 提案にあたっては具体的な時期を提示し、その提案理由を明記すること。
- (c) 宮城県に 2 泊、その他東北エリアに 2 泊以上の滞在を行うこと。
- (d) 宮城県の代表的なスキー場+周辺観光スポットを視察し、家族で楽しめるアフタースキーコンテンツや高付加価値コンテンツと併せて紹介する等、実際の旅行商品造成を見据えた提案とすること。
- (e) 東京から東北へのアクセスの容易さおよび東北域内における移動の利便性を体感できる行程とすること。あわせて、行程中に新幹線（グランクラス）を 1 回以上利用すること。区間は問わない。
- (f) 宮城県を中心とし、東北の広域観光を紹介する内容で提案すること。なお、必ずしも東北 7 県すべてのコンテンツを行程に含める必要はない。
- (g) 冬の定番スポットのみならず、近年、誕生・リニューアルした新たな施設や体験コンテンツについても行程に含めること。
- (h) 各日において団体ツアー造成をすることが可能な宿泊施設へ宿泊するとともに、部屋の見学等、

同施設の担当者による施設紹介を実施すること。

- (i) 受託者は、招請の実施前に被招請者に行程に係る意見を聴取し、委託者と調整の上、行程を決定すること。

b 招請に向けた旅行手配等

- (a) 被招請者選定に係る連絡調整及び手続等を行うこと。
- (b) 被招請者の旅行手配について、海外渡航費（被招請者の自宅⇄海外拠点空港までの往復移動を含む）日本国内交通費・宿泊費・食事代等を計上すること。
- (c) 招請中の移動手段として、専用車を手配すること。
- (d) 観光施設等の視察に係る経費を計上するとともに、事前に取材許可及び見学費の減免許可等を得ること。
- (e) 事業目的の達成にふさわしい通訳及びガイドを手配し、当該通訳及びガイドに要する経費（交通費、宿泊費、食事代及び見学費等）を計上すること。（通訳とガイドは兼務でも構わない）
- (f) 宿泊先は、インバウンド受入に積極的であり、かつ原則として客室又は公共スペースでの Wi-Fi が利用可能な宿泊施設とすること。また、原則 1 人 1 部屋ずつ手配すること。
- (g) 被招請者に当該事業に係る傷害保険を手配することとし、必要な経費を計上すること。
- (h) 被招請者に対してアンケート調査を実施し、集計及び分析の上報告すること。なお、アンケートの内容については事前に委託者と協議し、豪州市場におけるインバウンド誘客の検討材料となるものにすること。
- (i) 旅の行程についてのコースの地図と各スポットの概要及び交通情報を網羅した「旅のしおり」を作成すること。
- (j) 招請実施後は被招請者に適宜必要な情報提供等を行うことにより、旅行商品の造成に向けたフォローアップを行うこと。また、事業報告書において造成の実績等について報告すること。なお、旅行商品が造成されなかった場合は、その理由を聞き取り、報告書に明記すること。

6. 事業報告書の作成及び提出

- (1) 旅行博出展事業と商談会参加事業が終了してから概ね 30 日以内に、事業内容をまとめた中間報告書を作成し提出すること。また、中間報告書を用いて委託者、連携自治体に向けた中間報告説明会を実施すること。（オンライン可）なお、報告書は東北観光推進機構及び東北六県・新潟県及び仙台市が旅行会社へのセールス等に自由に使用できるものとする。
- (2) インフルエンサーが記事掲載、情報発信を行ってから概ね 30 日以内に、発信実績をまとめた報告書を作成し提出すること。
- (3) 2027 年 3 月 12 日（金）までに事業報告書を提出すること。

7. 事業効果の把握に関すること

- (1) 本事業が、東北六県・新潟県を主体とした誘客促進につながったことを具体的に把握できる成果指標の設定及びその測定（調査）方法を提案し、効果の測定を実施すること。
- (2) 旅行博への出展については、ブースへの来場者数等の成果指標の設定を行い、効果の測定を実施すること。

- (3) インフルエンサーの発信については、媒体接触者数・クリック数等成果指標の設定を行い、効果の測定を実施すること。
- (4) 旅行会社招請については造成した商品数、コース、料金及び販売数を把握し、報告書に記載すること。ただし、旅行商品の造成時期等により成果指標に係る実数を把握することが難しい場合は、被招請者から見込み数を聴取するなどし、効果測定に支障が生じないようにすること。
- (5) 事業実施に資する独自提案などがある場合、あわせて提案すること。

8. その他

- (1) 受託者は、委託者と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、業務に要する機材および消耗品について準備すること。
- (3) 受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い委託者の了解を得ること。
- (4) 受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。
- (5) 受託者は、各事業において担当者または副担当者が必ず同行すること。
- (6) 委託者が必要と判断した際には、受託者と協議を行った上で、本契約の内容を変更することができる。

以上